

(様式第8号)

事業報告書（令和 1 年度）

事業名 猫の祭展 2019

団体名 猫の祭展 担当者名 都路知世（つじともよ）

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

開催日時

岡山市 2019年9月19日（土）～10月14日（月・祝日）

倉敷市 2019年10月19日（土）～11月4日（月・祝日）

*時間は開催店舗によって異なる

場所

岡山市（池田動物園・奉還町・表町商店街、出石町などの街中心部）

倉敷市（主に美観地区）

約20ヶ所の参加店舗

参加対象者・人数

参加店舗、グループ、作家、学生、障がい者、総勢約200人

内容・事業特色

2019年で7年目。猫というモチーフから、あらゆるジャンルの作家が 美術・音楽・飲食等々の表現で、参加の店舗と共に独自の猫展を開催する街の交流アートイベント。岡山市と倉敷市の参加店舗で開催し、街の魅力に触れながら多くのお客様に回遊していただけるように工夫している。

学生や、障がいのある子供達の発表の場も設け、独創的な作品を積極的に発表した。

またNPO法人「岡山ニャンとかし隊」、やさか動物病院も加わり、所有者のいない猫対策の周知及び啓発、海外の対策例など、地域問題の紹介の展示や講演を行った。

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

・ESD活動についての説明とともに、教育の一環として～と話すことにより、「猫好きの人たちのお祭り」という単純な見解を脱していくことができた。

これまでも学生や、障がいのある子供たちが、独創的な作品を発表したり、それを地域の多くの方々に見てもらったりすることで、制作活動への関心につなげる試みをして

きていたが、世間に多い「猫展＝娯楽」というイメージが先行してしまい、地元の美術家や、音楽家たちのオリジナル作品も、芸術という観点では評価されにくいという課題があった。

このイベントを一時的なお祭りで終わらせるのではなく、アートを通しての学びと創造性の継続という意義を与えることができた。

また ESD 活動としての説明～体験型のアートや活動の中で生まれる感性や想像力について、レッジョ・エミリアの美術教育なども例にあげながら、社会と芸術についての関係話をしたり、考えてもらったりすることで“地域から発信するアート”としての位置付けをより明確にしていくきっかけが得られ、コミュニケーションツールとしての宣伝が出来たように感じている。

・保護猫活動団体のパネル展示など、社会問題に直接視覚で訴えられる充実した展示があったことで、地域猫活動の現状の認識率を高め、今後の課題を考えるきっかけ作りに成功した。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

展示に対するアンケートを試みたが、直接インタビューして答えてもらう以外には感想を集めるのが難しかった。しかしこうした町ぐるみのアートプロジェクトや、保護猫活動に関心を寄せてくださる方からの問い合わせも増え、NHKの取材の他、多くのメディアからも関心を寄せていただき、沢山の取材を受けることができた。結果として、そこから感想を多くいただくことができた。

「どのようにしたら参加できるのか」「県北にも巡回してほしい」「県内全体のアートプロジェクトに発展させて欲しい」「もっと早い段階からの宣伝（情報）が欲しい」など。

地域の作家が、制作によって自立できる土壌を作り、向上心を育てる場を作ることを目的として開催を重ねていく間に、協力者も増え、話を聞きに来る方々を多く得ることができた。

また岡山ニャンとかし隊だけでなく、やさか動物病院からは獣医師や動物看護師も加わり、地域の方々の声を拾いながら同問題に対する意見交換などを行う、充実したディスカッションを実現することができた。

4. 今後の課題と展望

「生き物をテーマとした問題を地域で考える機会を、もっと増やして欲しい」との要望や関心が高まる中、地域猫保護活動の現状を多くの人々に知ってもらうイベントなど可能な限り関連のある行事を取り入れ協力し合うことで、それらの活動を紹介できる場を増やして行きたいと考えている。

また子供が関心を持って作品を作るようになったという話が毎年増えていく中で、自由

(様式第8号)

研究の発表の場など、教育に結びつけた関心が増えていくことにも期待している。そうした作品の発表を、地域の人たちとのコミュニケーションに役立つ機会にしてもらえたら～と期待している。

2020年度は以上の要望にも応えるべく、天神山文化プラザの展示室の予約、池田動物園からの協力もとりつけた。加えて吉備路文化会館での展示やワークショップなども視野に入れ準備を進めている。







